

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

気仙沼線・大船渡線 BRT デジタルスタンプラリーを開催しました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

7月19日(土)～10月19日(日)、気仙沼線・大船渡線 BRT の駅や沿線の観光施設などをラリースポットとしてデジタルスタンプラリーを開催しました。開始日の7月19日(土)には、気仙沼線・大船渡線 BRT デジタルスタンプラリーの開始の発信を目的に JR 盛駅でオープニングイベントを開催しました。岩手県と宮城県、JR のゆるキャラが集まり、写真撮影や駅の利用者のお出迎え・お見送りを行いました。

スタンプラリーでは岩手、宮城の地場産品や JR オリジナルグッズ、体験型イベントなど豪華特典が用意され416人が参加しました。スタンプラリーは終了しましたが、気仙沼線・大船渡線 BRT を利用して沿線の観光施設を巡ってみてはいかがでしょうか。



スタンプラリーのチラシ



JR 南気仙沼駅



オープニングイベントの様子

気仙沼・南三陸仕事探検隊を開催しました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

気仙沼市・南三陸町在住の小中学生及びその保護者を対象として、夏休み期間中、気仙沼市及び南三陸町の企業の見学、体験等を行う「気仙沼・南三陸仕事探検隊」を開催しました。このイベントは、気仙沼市・南三陸町の企業の認知度を高め、将来の進路を選択する際の一助とすることを目的としており今年度は「気仙沼漁業協同組合」、「株式会社中華高橋水産」、「株式会社みらい造船」、「有限会社山藤運輸」、「丸平木材株式会社」の5社に協力いただきました。

合計で23組55人が参加し、参加者は、企業の業務内容について学んだほか、職場見学、業務・製作体験など普段できない体験を楽しみました。



気仙沼漁業協同組合



株式会社中華高橋水産



有限会社山藤運輸

「第18回みやぎ児童・生徒木工工作コンクール」開催!!

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

第18回みやぎ児童生徒「木工工作」コンクールは、小中学校生徒に木工工作を通じて、森林や木材に親しんでもらい、次世代を担う世代の社会理解と健全育成を目的に、毎年度開催されており、今年度は7月18日(金)～9月1日(月)の期間で応募を受け付けました。

なお、気仙沼管内では昨年に引き続き、応募作品の全てを、リアス・アーク美術館の御協力の下に、コモンホール(エントランスホール)に展示させていただき、284人の来場者が訪れました。また、予備審査として展示していた県合同庁舎会議室を開放し、デモ展示を行うことで、多数の職員及び来庁者に足を運んでいただきました。

今年度は、応募方法が学校を経由しない電子申請に変更となり、応募件数の減少が懸念されましたが、計24件(3小学校)と昨年を超える応募数となりました。これはリアス・アーク美術館への展示など、少なからずモチベーションアップにつながったと思われるため、今後も小中学校生徒が更に応募したくなるような取組を検討してまいります。



予備審査状況



リアス・アーク美術館展示状況



展示作品の一部

自伐型林業者向け「橋本式作業道講習会」の開催!!

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

南三陸町内を主体とした自伐型林業者の支援団体である南三陸自伐型林業協会の主催による、「橋本式作業道講習会」が令和7年9月13日(土)～14日(日)に開催されました。

本講習会の講師には、徳島県那賀郡臼ヶ谷で5代にわたり100haの山林を管理し、約30kmの高密度路網を整備している【橋本山林：橋本光治氏】をお招きして、環境性と経済性を両立し、針広混交林を目指した山林管理について学べる貴重な機会となっています。

当日は、あいにくの天候の中でしたが、北は青森県、南は埼玉県から延べ20人以上の自伐型林業に賛同した林業者が本講習会に参加しました。参加者は、既に自伐型林業者として独り立ちしている方から、今回を機に新たに林業を始める方と様々であり、自然環境への負荷を最小限に抑えつつ、豪雨でも壊れにくい「壊れない作業道」をコンセプトとした小規模で自然に優しい作業道の開設ノウハウを、橋本講師の指導の下で悪戦苦闘しながら実践していました。

なお、次年度も開催予定とのことでしたので、自伐型林業に興味のある方はぜひご参加ください。



現地指導状況



講師とマンツーマンによる操作指導



開設済の壊れにくい作業道

低コスト造林に向けた「搭乗型下刈機見学会」の開催!!

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

令和4年度に本吉町森林組合において、みやぎ環境税を原資とした「チャレンジ!みやぎ500万本造林事業(実践提案型)」を活用し、伐根等の機械地拵えによる搭乗型下刈機の使用を前提とした、提案型低コスト造林を気仙沼市本吉町蕨野地区(A=2.97ha)で実施しています。

そこで、昨年度より搭乗型下刈機による下刈を開始していることから、管内市町村及び森林組合等を対象とした現場見学会を開催したところ、計7名に参加していただきました。

使用機械としては、ブッシュカッタージョージ(筑水キャニコム社)を使用しており、オペレーターが実際に下刈機に搭乗し、下刈作業の実演が行われました。参加者は興味津々に作業状況を見学し、あまりの作業効率の早さに驚いているようでした。

下刈作業は、猛暑による労働生産性悪化や蜂刺されなど、林業従事者から敬遠されがちな作業ですが、優良材を生産するためには重要な作業です。まだまだ造林木の周囲など対応困難な面もあるものの、機械化が進むことで、労働生産性の向上と従事者の安全確保にも繋がることが期待されます。



搭乗型下刈機



搭乗型下刈機稼働状況①



搭乗型下刈機稼働状況②

第25期 森のアカデミーが開催されました!!

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

気仙沼市内において、自伐型林業者の支援を行っている特定非営利活動法人リアスの森応援隊が主催する「森のアカデミー」は、地域の森林を適正に管理するため、地域の林業労働力を確保することを目的として開催されており、本年度は令和7年5月～6月にかけて、作業毎(①作業道研修2回・②チェーンソー研修3回・③集材、搬出研修2回)に計7回開催されました。

本アカデミーでは、「林業で収入を得たい」・「自分の山をきちんと管理したい」という人向けに、全国で成功されている講師をお招きして、山の手入れを通じて間伐材で収入を得る「自伐型林業者の基本」となる、間伐・搬出などの基礎を学ぶ研修会となっています。

参加者は、実際にチェーンソーによる伐倒・枝払い、林業用運搬車である「やまびこ」を活用した伐倒木の集材など、実際の作業に準じた講習が行われています。なお、本アカデミーは、平成24年度～今年度で第25期となり、現在までに700人以上の卒業生を輩出しており、初心者も大歓迎とのことですので、興味のある方は来年度ぜひご参加ください。



チェーンソー造材指導



やまびこを活用した集材指導



森のアカデミー第25期生

ホヤぼーやビーチクリーンが開催されました。

(気仙沼地方振興事務所地方振興部・気仙沼土木事務所)

7月6日(日)に気仙沼市で今年度2回目のビーチクリーンが開催され、21団体が参加しました。会場は小泉海水浴場、大谷海水浴場、お伊勢浜海水浴場、小田の浜海水浴場の4ヶ所で今回は大島の小田の浜海水浴場を担当しました。海水浴場のオープン前に、海岸に漂着したプラスチック類などをはじめ、さまざまなゴミを地元の方と一緒に集め、分別しました。ビーチクリーンに参加された皆さん、お疲れ様でした!



清掃の様子



ゴミの分別

令和7年度ドーロ・クリーン大作戦を開催しました。

(気仙沼土木事務所)

8月の「道路ふれあい月間」に合わせ、今年度もドーロ・クリーン大作戦を宮城県建設業協会気仙沼支部と合同で開催しました。今年は近年の猛暑に対応するため、参加者の体調面を考慮し開催月を一月遅らせ9月9日(火)の実施となりました。

当日は建設業協会の方々と気仙沼土木事務所の職員を合わせ100余名が参加し、出発式のあと割り当てられた各路線にて作業を行いました。

作業の結果、投棄ゴミの収集のほか道路に繁茂した草の除草を行い、多くのゴミを回収し道路環境美化を進めることができました。この道路状態を維持できるように、日々の維持管理作業を行っていきます。



宮城県建設業協会気仙沼支部

小山支部長挨拶



出発式



活動の様子